

こ い し わ ら が わ
小石原川ダム定礎式の開催について

小石原川ダム建設事業は、筑後川総合開発の一環として、水資源機構が福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村^{とうほうむら}で実施する洪水調節、流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給を含む）、都市用水の確保を目的とした多目的ダムを建設する事業です。平成15年に建設事業に着手し、このたびダム本体の本格的な盛立※に取りかかることとなりました。

つきましては、小石原川ダム建設事業に多大なご協力を頂いている方々をお招きして、「工事の安全」と「早期の完成」を祈念する定礎式を別紙のとおり行うこととしましたので、お知らせいたします。

日時：平成30年5月12日（土）9：30～12：00（雨天決行）

場所：小石原川ダム ダムサイト（別紙案内図参照）

（福岡県朝倉市江川地先）

※ 盛立：土や岩石を使って、ダム本体を造ること。



平成30年4月27日

独立行政法人 水資源機構
筑後川局
朝倉総合事業所

配布先

国土交通記者会
国土交通省九州記者会
九州建設専門記者クラブ
佐賀県政記者クラブ
久留米市政記者クラブ
西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局
水資源記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 筑後川局 総務課長 なかやま 中山
住所：福岡県久留米市東町42番地21
電話番号：0942（34）7001

独立行政法人 水資源機構 朝倉総合事業所 総務課長 おだ 小田
調査設計課長 はやし 林
住所：福岡県朝倉市上秋月1373番地1
電話番号：0946（25）1100

別紙

小石原川ダム定礎式について

- 1 日 時 平成30年5月12日（土）9時30分～12時（雨天決行）
- 2 場 所 小石原川ダム ダムサイト（別添案内図参照）
（福岡県朝倉市江川地先）

3 主 催 独立行政法人水資源機構

4 次 第

I 式 典

- ① 開式の辞
- ② 主催者挨拶
- ③ 事業経過報告
- ④ 来賓挨拶
- ⑤ 水没移転者代表挨拶
- ⑥ 来賓紹介・電報披露

II 定礎行事

- ① 礎石搬入
- ② 鎮定（ちんてい）の儀（礎石の四隅にコア土※を入れ礎石を鎮め定める）
- ③ 齋饅（いみごて）の儀（入れられたコア土※を清められた饅で敷き均す）
- ④ 齋槌（いみづち）の儀（礎石の四隅を締め固める）
- ⑤ 埋納の儀・万歳三唱・くす玉開披
- ⑥ 閉式の辞

5 主な出席予定者（ご来賓）

衆議院議員、参議院議員

福岡県知事、佐賀県知事、福岡県議会議長、福岡県議会議員

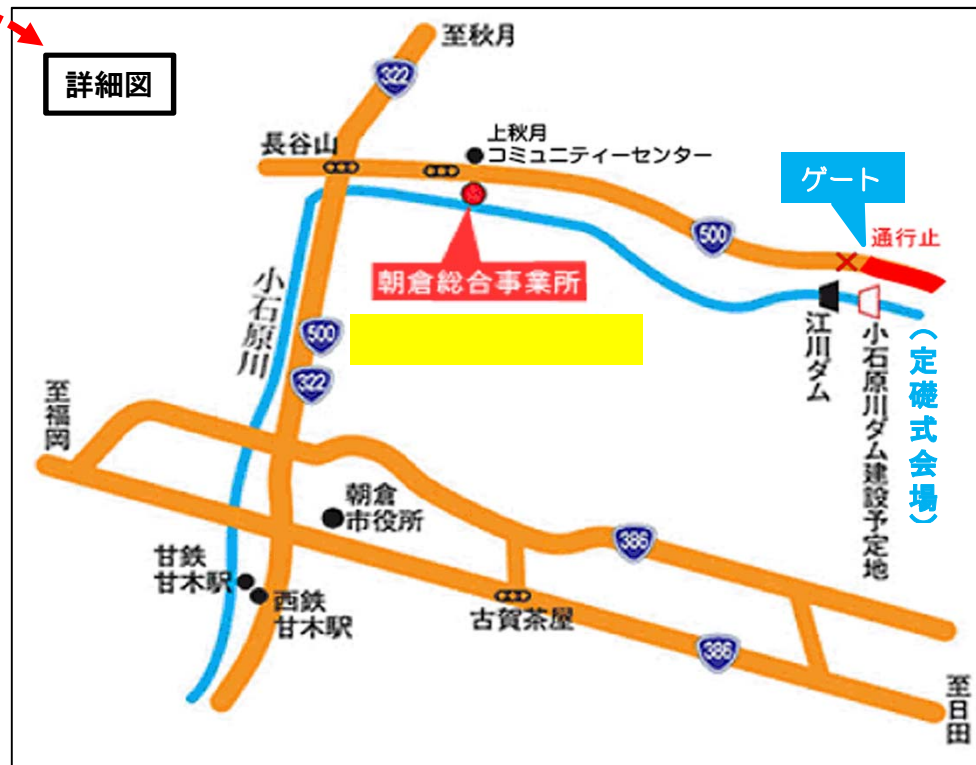
国土交通省、厚生労働省

福岡県南広域水道企業団企業長、うきは市長

朝倉市長、東峰村長、水没地権者代表 など 約300名の方々

以 上

※ コア土： ダム本体の中心部に使われる、水を通しにくい粘土質の土



小石原川ダム建設事業 [概要]

1. 事業の目的

(1) 洪水調節

小石原川ダム地点における計画高水流量 $190\text{m}^3/\text{s}$ （毎秒190立方メートル）のうち、 $140\text{m}^3/\text{s}$ （毎秒140立方メートル）の洪水調節を行い、下流の洪水被害を軽減させる。

(2) 流水の正常な機能の維持

下流既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。
また、筑後川水系の異常渇水時の緊急水の補給を行う。

(3) 新規利水

福岡県南広域水道企業団の水道用水として最大 $0.5836\text{m}^3/\text{s}$ （毎秒0.5836立方メートル）、うきは市の水道用水として最大 $0.0664\text{m}^3/\text{s}$ （毎秒0.0664立方メートル）の取水を可能ならしめる。

2. 事業の概要

小石原川ダム

型 式 : ロックフィルダム

堤 高 : 139m

堤 体 積 : 約830万 m^3

総貯水容量 : 約4,000万 m^3

有効貯水量 : 約3,910万 m^3

流域面積 : 約20.5 km^2

導水施設

通 水 量 : 最大 $3.0\text{m}^3/\text{s}$ （毎秒3.0立方メートル）

延 長 : 約5km

3. 事業の経緯

- 昭和55年 4月 予備調査開始
- 平成 4年 4月 実施計画調査の開始
- 平成 5年 9月 筑後川水系における水資源開発基本計画の一部変更
(小石原川ダム建設事業の追加)
- 平成18年 3月 小石原川ダム建設事業に関する事業実施計画の認可
- 平成20年 3月 小石原川ダム建設事業に伴う損失補償基準の妥結
- 平成20年 8月 集団移転地造成工事完成
- 平成25年11月 小石原川ダム建設事業に関する事業実施計画(変更)の認可
- 平成27年 7月 導水施設工事着手
- 平成28年 4月 迂回路(県道改良区間)の供用開始
- 平成28年 4月 ダム本体工事着手
- 平成28年 7月 仮排水路トンネル転流開始
- 平成29年 8月 盛立開始

小石原川ダム定礎式を取材いただくに当たって(お願い)

- 1 取材のお申し込みの際には、「小石原川ダム定礎式 取材申込用紙」をご記入いただき、独立行政法人水資源機構朝倉総合事業所あてFAXにて返信願います。
- 2 当日は、混雑が想定されることから、8時30分までに朝倉総合事業所（別紙案内図参照：朝倉市上秋月1373番地1）にお立ち寄りの上、駐車証をお受け取り下さい。
なお、駐車証は、式典会場前のゲート（両筑平野用水管理所（江川ダム）を通過して約2km地点）に到着する前までに、車のダッシュボードの上に置いていただきますようお願いいたします。
- 3 来賓の方々など多数出席されていますので、取材時の服装については、ご配慮願います。
また、取材いただく際には、お持ちの腕章等の着用をお願いいたします。
- 4 環境への配慮のため、会場内でのドローン（無人航空機）の使用は、ご遠慮願います。

小石原川ダム定礎式 取材申込用紙

取材の申込みについて、下記事項を必ずご記入いただき、5月9日(水)17時までに、FAXにて返信願います。

1. 報道機関名

2. 担当記者名

3. 随行者名

4. 当日の車両 車 種 :
 ナンバー :

5. 緊急時連絡先（携帯電話など）※当日に連絡が取れる番号をご記入願います。

※ 駐車場に限りがあるため、各社2台（放送車両含む）まででお願いいたします。

※ 申込書に記載されている情報は、本目的以外には使用しません。

お申し込み先

独立行政法人水資源機構 朝倉総合事業所 総務課行き

FAX : 0946(25)1188

定礎式の一般的な流れ

※本資料はコンクリートダムにおける定礎式の一般的な流れを示したものであり、フィルダムで使用する材料に応じて内容が変わります。

(1) 礎石搬入



(2) 定礎の儀



礎石



ちんてい
①鎮定の儀

搬入された礎石を固めるため、モルタルを礎石の基礎に入れるもの。工事を進める道をつけるという意味がある。



礎石運搬隊



いみごて
②齋鍬の儀

鎮定の儀により礎石の周りに入れられたモルタルをこて鍬で均すもの。鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味がある。



礎石搬入



いみつち
③齋槌の儀

木槌で礎石をたたいてしっかりと納めるもの。鎮定の儀でつけられ、齋鍬の儀で均された道をさらに強固なものにするという意味がある。



まいのう
④埋納の儀



くす玉開披・万歳三唱